

高崎市公共下水道事業変更計画書 (変更)

公共下水道管理者 高 崎 市

工事着手の年月日 昭和 48 年 10 月 30 日

工事完成の予定年月日 令和 8 年 3 月 31 日
令和 13 年 3 月 31 日

I 公 共 下 水 道 事 業 計 画 書

第1表の1

予 定 処 理 区 域 調 書				
予 定 処 理 区 域 の 面 積		2,604.0 ヘクタール	予 定 処 理 区 域 内 の 地 名	高崎市の一部 区域は下水道計画一般図のとおり
処 理 区 の 名 称		面 積 (単 位 ヘクタール)	摘 要	
公 共 下 水 道	高 崎 処 理 区		1,285.9	区域は下水道計画一般図のとおり
	城 南 処 理 区		880.0	〃
	小 計 (公 共 下 水 道)		2,165.9	〃
特 定 環 境 保 全	高 崎 処 理 区		438.1	〃
	小 計		438.1	〃
計		2,604.0		

第1表の2

予定排水区域調書					
予定排水区域の面積		1,977.0ヘクタール	予定排水区域内の地名	高崎市の一部 区域は下水道計画一般図のとおり	
排水区の名称		面積 (単位ヘクタール)	摘 要		
公共下水	烏川右岸第2	1.0	区域は下水道計画一般図表示のとおり		
	烏川右岸第3	9.9	〃		
	烏川右岸第5	12.0	〃		
	烏川右岸第6	55.0	〃		
	烏川右岸第7	17.0	〃		
	烏川右岸第8	70.1	〃		
	烏川右岸第8-1	34.7			
	烏川右岸第9	20.8	〃		
	烏川右岸第10	55.0	〃		
	烏川右岸第11	11.4	〃		
	烏川右岸第11-1	25.8	〃		
	烏川右岸第11-2	2.0	〃		
	烏川右岸第12	0.2	〃		
	新川第2	22.9	〃		

排水区の名称		面積 (単位ヘクタール)	摘要
公共下水道	新川第3	21.9	区域は下水道計画一般図表示のとおり
	新川第4	15.5	〃
	新川第5	14.8	〃
	新川第6	54.4	〃
	雁行川第2	26.8	〃
	雁行川第3	2.9	〃
	雁行川第4	24.8	〃
	雁行川第5	19.8	〃
	衣沢川	8.2	〃
	中山川	6.0	〃
	中ツ沢川	16.7	〃
	金井沢川第1	8.0	〃
	金井沢川第2	7.1	〃
	碓氷川右岸第1	14.0	〃
	碓氷川右岸第2	18.7	〃
	碓氷川右岸第4	13.4	〃

排水区の名称		面積 (単位ヘクタール)	摘要
公共下水道	荒久沢川第1	3.5	区域は下水道計画一般図表示のとおり
	荒久沢川第2	8.1	〃
	荒久沢川第3	20.0	〃
	碓氷川左岸第1	1.7	〃
	碓氷川左岸第2	74.5	〃
	藤川第1	30.0	〃
	藤川第2	37.3	〃
	藤川第3	66.5	〃
	烏川左岸第4	4.2	〃
	烏川左岸第5	17.1	〃
	烏川左岸第6	43.1	〃
	烏川左岸第7	18.7	〃
	烏川左岸第8	52.4	〃
	高松	30.0	〃
	天神川第1	26.2	〃

排水区の名称		面積 (単位ヘクタール)	摘要
公共下水道	天神川第2	11.2	区域は下水道計画一般図表示のとおり
	佐賀野川第1	4.9	〃
	佐賀野川第2	56.3	〃
	佐賀野川第3	11.1	〃
	粕沢川第1	9.7	〃
	粕沢川第2-2	30.8	〃
	一貫堀川第1	63.2	〃
	一貫堀川第2	70.8	〃
	一貫堀川第3	27.0	〃
	一貫堀川第4	9.6	〃
	一貫堀川第5	43.0	〃
	一貫堀川第6	11.3	〃
	一貫堀川第7	25.0	〃
	合流式区域	559.0	〃
	計	1,977.0	〃

第2表

雨水計画を見直し中のため計画降雨調書は未作成

第3表の1

吐 口 調 書							
処理区の名称	主要な吐口の 種類	主要な吐口の 番号又は名称	主要な吐口 の位置	計画 放流量 (m ³ /秒)	放流先 の名称	放流先 の水位	摘 要
城南処理区	処理施設	城南 水処理センター	和田多中町	3.542	烏川	低水位 TP+ 75.81m	放流先の 低水量 6.68m ³ /秒
高崎処理区	処理施設	阿久津 水処理センター	阿久津町	0.821	烏川	低水位 TP+ 72.50m	放流先の 低水量 6.68m ³ /秒

第3表の2

吐 口 調 書							
排水区の名 称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量(m ³ /秒)	放流先の名称	放流先の水位	摘要
烏川右岸第5	分流式雨水管渠	烏右・2	下豊岡町	3.659	烏川	高水位 TP+ 98.63m	下豊岡樋管水門 点検方法：動作確認 点検頻度：年1回
烏川右岸第6	分流式雨水管渠	烏右・3	下豊岡町	9.331	烏川		
烏川右岸第8-1	分流式雨水管渠	烏右・4	片岡町1丁目	9.988	烏川	高水位 TP+ 89.09m	石原第2樋管水門 点検方法：動作確認 点検頻度：年1回
烏川右岸第8	分流式雨水管渠	烏右・5	聖石町	9.217	烏川		
烏川右岸第9	分流式雨水管渠	烏右・6	石原町	5.389	烏川		
烏川右岸第10	分流式雨水管渠	烏右・7	石原町	10.507	烏川		
烏川右岸第11	分流式雨水管渠	烏右・8	寺尾町	5.622	烏川		
烏川右岸第11-1	分流式雨水管渠	烏右・8－1	寺尾町	7.678	烏川		
烏川右岸第11-2	分流式雨水管渠	烏右・8－2	寺尾町	2.419	烏川		
新川第3	分流式雨水管渠	新川・2	石原町	3.904	新川		
新川第6	分流式雨水管渠	新川・3	石原町	6.675	新川		
雁行川第4	分流式雨水管渠	雁行・1	寺尾町	3.434	雁行川		

吐 口 調 書							
排水区の名 称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量(m ³ /秒)	放流先の名称	放流先の水位	摘要
烏川左岸第 6	分流式雨水管渠	烏左・ 4	並榎町	7.900	烏川	高水位 TP+ 91.61m	並榎樋管水門 点検方法：動作確認 点検頻度：年 1 回
碓氷川右岸第 1	分流式雨水管渠	碓氷右・ 1	鼻高町	5.561	碓氷川		
碓氷川右岸第 4	分流式雨水管渠	碓氷右・ 2	乗附町	3.457	碓氷川		
碓氷川左岸第 1	分流式雨水管渠	碓氷左・ 1	藤塚町	13.817	碓氷川		
碓氷川左岸第 2	分流式雨水管渠	碓氷左・ 2	下豊岡町	15.637	碓氷川		
藤川第 1	分流式雨水管渠	藤川・ 1	上豊岡町	7.634 4.005	藤川		
藤川第 2	分流式雨水管渠	藤川・ 2	上豊岡町	12.963 7.964	藤川		
— 藤川第 2	— 分流式雨水管渠	— 藤川・ 3	— 上豊岡町	— 8.754	— 烏川	— 高水位 TP+ 103.5m	— 藤川 3 号樋管水門 点検方法：動作確認 点検頻度：年 1 回
烏川左岸第 4	分流式雨水管渠	烏左・ 3	上並榎町	3.813	烏川		
烏川左岸第 7	分流式雨水管渠	烏左・ 5	上佐野町	3.419	烏川		
烏川左岸第 8	分流式雨水管渠	烏左・ 6	下佐野町	12.849	烏川		
高松	分流式雨水管渠	高松・ 1	宮元町	6.468	烏川		
天神川第 2	分流式雨水管渠	天神・ 1	上並榎町	2.002	天神川		
佐賀野川第 1	分流式雨水管渠	佐賀・ 1	上並榎町	16.290	佐賀野川		
佐賀野川第 2	分流式雨水管渠	佐賀・ 2	上並榎町	17.626	佐賀野川		

吐 口 調 書							
排水区の名 称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量(m ³ /秒)	放流先の名称	放流先の水位	摘要
一貫堀川第 1	分流式雨水管渠	一貫堀・1	大橋町	11.311	一貫堀川		
一貫堀川第 2	分流式雨水管渠	一貫堀・2	昭和町	14.699	一貫堀川		
一貫堀川第 3	分流式雨水管渠	一貫堀・3	飯塚町	7.876	一貫堀川		
一貫堀川第 5	分流式雨水管渠	一貫堀・4	貝沢町	8.639	一貫堀川		
一貫堀川第 7	分流式雨水管渠	一貫堀・5	江木町	10.179	一貫堀川		
城南地区	合流式雨水吐	常盤・1	常盤町	11.590	烏川	高水位 TP+ 89.92m	常盤樋管水門及び 新常盤樋管水門 点検方法：動作確認 点検頻度：年 1 回
城南地区	合流式雨水吐	若松・1	若松町	6.451	烏川	高水位 TP+ 88.00m	スクリーンの設置、 若松樋管水門 点検方法：動作確認 点検頻度：年 1 回
城南地区	合流式雨水吐	下和田・2	下和田二丁目	53.432	烏川	高水位 TP+ 85.44m	スクリーンの設置、 城南樋管水門 点検方法：動作確認 点検頻度：年 1 回
城南地区	合流式雨水吐	下和田・1	下和田三丁目	6.950	烏川	高水位 TP+ 85.44m	スクリーンの設置、 城南樋管水門 点検方法：動作確認 点検頻度：年 1 回
城南地区	合流式雨水吐	城南・1	和田多中町	3.439	烏川		スクリーンの設置
城南地区	合流式雨水吐	城南・2	上佐野町	2.854	烏川		スクリーンの設置

第4表の1

汚水管渠調書				
処理区の名称	主要な管渠 の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延 長 (単位メートル)	点検 箇所 の数	摘 要
高 崎 処 理 区 城 南 処 理 区	⊙ 100 ～ 2,000	74,410	29 箇所	方法：人孔内からの目視調査、若しくは管口カメラを用いる方法 頻度：5年に1回以上 (図番 8/28 MH管理番号 9、10、11、37、38、44、図番 9/28 MH管理番号 68、図番 10/28 MH管理番号 1、43、47、図番 12/28 MH管理番号 5、図番 13/28 MH管理番号 3、13、39、図番 14/28 MH管理番号 8、49、図番 17/28 MH管理番号 2、図番 18/28 MH管理番号 69、70、71、72、図番 19/28 MH管理番号 12、40、図番 23/28 MH管理番号 7、42、図番 24/28 MH管理番号 4、6、41)
	▣ 600×600 ～ 3,800×1,650	2,710		
計		77,120	29 箇所	

第4表の2

雨 水 管 渠 調 書				
排水区の名称	主要な管渠 の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	点検箇所 の数	摘 要
鳥川右岸第3	○1,500	430		
	小計	430		
鳥川右岸第5	□1,500×1,100	110		
	小計	110		
鳥川右岸第6	○1,650 ～ 2,000	560		
	□2,000×2,000	390		
	小計	950		
鳥川右岸第8	□1,600×1,000 ～ 4,500×1,900	1,820		
	小計	1,820		
鳥川右岸第8-1	□1,000×1,000 ～ 2,300×2,000	1,530		
	小計	1,530		
鳥川右岸第9	○1,500 ～ 1,650	750		
	□2,300×1,800	150		
	小計	900		
鳥川右岸第10	□1,800×1,750 ～ 1,800×2,100	750		
	小計	750		
鳥川右岸第11	└┐1,400×1,400 ～ 1,700×1,700	560		
	□1,800×1,800	40		
	小計	600		
鳥川右岸 第11-1	□1,400×1,400 ～2,100×2,100	440		
	小計	440		

雨 水 管 渠 調 書				
排水区の名称	主要な管渠 の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	点検箇所 の数	摘 要
鳥川右岸 第 11-2	□1,300×1,300	40		
	小計	40		
新川第 3	□1,050×800	110		
	▽1600, 1100×1200	70		
	小計	180		
新川第 6	○1,350~1,650	520		
	□1,700×1,700 ~3,500×1,100	1,460		
	小計	1,980		
雁行川第 4	▽3000, 1400×1600	300		
	▽2,100×1,500	100		
	小計	400		
碓氷川右岸第 1	□1,000×1,500	240		
	小計	240		
碓氷川右岸第 4	▽450, 900×2300	270		
	▽1,500×1,350	60		
	小計	330		
碓氷川左岸第 1	□4,500×1,550	270		
	小計	270		
碓氷川左岸第 2	○1,500~2,000	1,040		
	□2,200×2,200 ~2,500×2,500	1,510		
	小計	2,550		

雨 水 管 渠 調 書				
排水区の名称	主要な管渠 の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	点検箇所 の数	摘 要
藤川第 1	□2,300×1,500 ～2,500×1,500	400		
	└┐3,500×1,500	330		
	小計	730		
藤川第 2	○1,650 ～1,800 ○1,650 ～2,200	470 1,040		
	□1,900×1,900 ～2,400×2,000	1,570		
	▢2,000×1,500	560		
	小計	2,600		
鳥川左岸第 4	└┐2,000×1,250 ～2,650×1,710	520		
	小計	520		
鳥川左岸第 6	□1,800×1,400 ～2,500×1,500	280		
	小計	280		
鳥川左岸第 7	└┐2,000×1,500	180		
	▽4600, 2400×2200	80		
	小計	260		
鳥川左岸第 8	○1,500～2,000	730		
	□2,000×2,000 ～2,400×2,400	1,480		
	小計	2,210		
高松	□2,000×1,500 ～2,000×2,000	400		
	○2,400	250		
	小計	650		

雨 水 管 渠 調 書				
排水区の名称	主要な管渠 の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	点検箇所 の数	摘 要
天神川第 2	└┐1,500×1,200	130		
	○1,500	10		
	小計	140		
佐賀野川第 1	□2,800×2,800	670		
	小計	670		
佐賀野川第 2	□1,800×1,500 ～4,400×1,450	2,030		
	○2,200	200		
	└┐4,400×1,450	150		
	小計	2,380		
一貫堀川第 1	□1,700×1,700 ～2,600×1,800	380		
	▢2,400×1,300	380		
	小計	760		
一貫堀川第 2	□1,600×1,600 ～2,600×1,800	670		
	└┐2,000×1,700	280		
	▢2,400×1,700	340		
	小計	1,290		
一貫堀川第 3	□2,000×1,300 ～2,400×1,700	350		
	小計	880		
一貫堀川第 5	□2,150×1,300 ～2,700×1,500	440		
	小計	440		

雨 水 管 渠 調 書				
排 水 区 の 名 称	主要な管渠 の内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	点検箇所 の数	摘 要
一貫堀川第7	⊙ 1,800	340		
	▣1,800×1,800 ～2,100×2,100	930		
	小計	1,270		
合流区域	⊙700～3,000	7,310		
	2×▣4,100×2,000	210		
	小計	7,520		
計		36,120 36,690		

第5表

処 理 施 設 調 書								
終末処理 場等 の名称	位 置	敷地面積 (単位ヘクタ ル)	計画放 流水質	処理 方法	処理能力 (単位立方メートル)		計画 処理 人口	摘 要
					晴天日 最大	雨天日 最大		
城南 水処理 センター	和田多中 町	2.58	15	標準活性 汚泥法	13,000	274,150	47,000 51,090	流入水質 BOD : 250 mg/L 180 mg/L S S : 190 mg/L 139 mg/L 放流水質 BOD : 15 mg/L S S : 10 mg/L 流入水量 (日最大) 全体計画 27,100 m³/日 27,350 m³/日 事業計画 30,200 m³/日 30,160 m³/日
阿久津 水処理 センター	阿久津町	14.30	15	標準活性 汚泥法	89,900	-	58,000 62,240	流入水質 BOD : 265 mg/L 205 mg/L S S : 225 mg/L 173 mg/L 放流水質 BOD : 15 mg/L S S : 10 mg/L 流入水量 (日最大) 全体計画 75,900 m³/日 77,340 m³/日 事業計画 71,000 m³/日 71,530 m³/日 処理能力 全体計画 89,900 m³/日

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
城南 水処理 センター	沈砂池	2 池	鉄筋コンクリート造り	水面積 負荷 1,800 m ³ /m ² ・日	A 既設
	最初沈殿池	2 池	鉄筋コンクリート造り	水面積 負荷 50 m ³ /m ² ・日	A 既設
	反応タンク	1 池	鉄筋コンクリート造り	エアレーション 時間 8.0 時間	A 既設
	最終沈殿池	3 池	鉄筋コンクリート造り	水面積 負荷 20 m ³ /m ² ・日	A 既設
	消毒タンク	1 池	鉄筋コンクリート造り	接触 時間 15 分	A 既設

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
阿久津 水処理 センター	沈砂池	2 池	鉄筋コンクリート造り	水面積 負荷	A 既設
		2 池			B 既設
	汚水ポンプ	2 台	立軸斜流 渦巻きポンプ	揚水量	A 既設
		2 台			A 既設
		2 台			B 既設
		2 台			B 既設
	予備 エアレーションタンク	2 池	鉄筋コンクリート造り	エアレーション 時間	27 分
	最初沈殿池	4 池	鉄筋コンクリート造り	水面積 負荷	A 既設
		8 池			B 既設
		4 池			B 増設
	反応タンク	6 池	鉄筋コンクリート造り	エアレーション 時間	A 既設
		4 池			B 既設
		2 池			B 増設
	最終沈殿池	4 池	鉄筋コンクリート造り	水面積 負荷	A 既設
		8 池			B 既設
		4 池			B 増設
	消毒タンク	1 池	鉄筋コンクリート造り	接触 時間	A 既設
		1 池			B 既設
		1 池			B 増設

終 末 処 理 場 等 の 敷 地 内 の 主 要 な 施 設					
終末処理場 等の名称	主要な施設 の名称	個数	構造	能力	摘要
阿久津 水処理 センター	送風機	3 台	多段ターボブロワ	315 m ³ /分	A 既設
		3 台		吐出量 300 m ³ /分	B 既設
		1 台		300 m ³ /分	B 増設
	濃縮タンク	2 池	鉄筋コンクリート造 り	固形物 負荷 75 kg/ m ² ・日	A 既設
		1 池			B 既設
		1 池			B 増設
	濃縮設備	2 台	機械濃縮機	30 m ³ /時間	既設
		1 台		20 m ³ /時間	増設
	脱水機	2 台	遠心脱水機	20 m ³ /時間	既設
		1 台		20 m ³ /時間	増設

第6表

ポ ン プ 施 設 調 書						
ポンプ施設の 名称	処理区 の名称	ポンプ施設 の位置	敷地面積 (単位ヘクタール)	一分間の揚水量 (単位立方メートル)		摘要
				晴天時最大	雨天時最大	
下佐野汚水 中継ポンプ場	高崎処理区	下佐野町	0.03	1.50	—	
上並榎汚水 中継ポンプ場	高崎処理区	上並榎町	0.02	3.38	—	
常盤汚水 ポンプ場	城南処理区	常盤町	0.44	18.72	—	
常盤雨水 ポンプ場				—	695.4	
下和田 中継ポンプ場	城南処理区	下和田町	0.14	4.29	—	
鼻高汚水 中継ポンプ場	高崎処理区	鼻高町	0.03	1.33	—	
稲荷 ポンプ場	城南処理区	稲荷町	0.01	1.20	—	

ポンプ施設の敷地内の主要な施設					
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構造	能力	摘要
下佐野汚水中継ポンプ場	汚水ポンプ	3 台	水中汚水ポンプ 口径 100mm (内 1 台予備)	揚水量 2.20 m ³ /分	
上並榎汚水中継ポンプ場	汚水ポンプ	3 台	水中汚水ポンプ 口径 150mm (内 1 台予備)	揚水量 3.40 m ³ /分	
常盤汚水ポンプ場	汚水ポンプ	4 台	口径 200mm	揚水量 18.80 m ³ /分	
	上屋	2 棟	鉄筋コンクリート造	—	
常盤雨水ポンプ場	沈砂池	3 池	鉄筋コンクリート造	滞留時間 46 秒	
	雨水ポンプ	3 台	立軸斜流ポンプ口径 1,350mm	揚水量 662 m ³ /分	
下和田 中継ポンプ場	沈砂池		鉄筋コンクリート造	—	
	汚水ポンプ	3 台	水中汚水ポンプ 口径 200mm (内 1 台予備)	揚水量 4.29 m ³ /分	
	上屋	1 棟	鉄筋コンクリート造	—	
鼻高汚水中継ポンプ場	汚水ポンプ	3 台	水中汚水ポンプ 口径 100mm (内 1 台予備)	揚水量 2.04 m ³ /分	
稲荷ポンプ場	汚水ポンプ	3 台	水中汚水ポンプ 口径 80mm (内 1 台予備)	揚水量 1.26 m ³ /分	

第7表

貯留施設調書				
処理区の名称	主要な貯留施設の名称	主要な貯留施設の位置	貯留能力 (単位立方メートル)	摘 要
城南処理区	城南滞水池	和田多中町	15,000	沈砂池 2 池 水面積負荷 $1,800\text{m}^3/\text{m}^2 \cdot \text{日}$ 水面積負荷 $3,600\text{m}^3/\text{m}^2 \cdot \text{日}$

9 その他の書類

9.1 施設の設置に関する方針（様式1）

主要な施策 (事業計画に基づき今後実施する予定の事業に該当するものを記載)	整備水準					事業の重点化・効率化の方針	中期目標を達成するための主要な事業	備考	
	指標等		現在 (令和6年度末)	中期目標 (令和12年度末)	長期目標 (令和33年度末)				
汚水処理	下水道処理人口普及率		77.8%	81.4%	94.0%	生活排水処理施設整備構想に基づく汚水処理の概成を目標とし、弾力的な対応を考慮しつつ、人口密度が高い市街化区域から優先的に整備を実施する	事業計画区域内の管渠整備事業	・全処理区の平均値 ・過年度実績平均より0.6%/年上昇	
	管路施設(管渠)	緊急度Ⅰの延長	0m	0m	0m	下水道ストックマネジメント計画に基づき、段階的に改築更新を行っていく。	下水道ストックマネジメント計画に基づく改築更新工事		
	管路施設(マンホール)	緊急度Ⅰのマンホールの箇所数	0箇所	0箇所	0箇所				
	下水処理場	「中分類相当」の健全度2以下の施設数(2施設のうち)	1箇所	0箇所	0箇所				
	ポンプ場	「中分類相当」の健全度2以下の施設数(7施設のうち)	0箇所	0箇所	0箇所				
浸水対策	了す計 する画 割た整 合面降 備雨 積がに の完対	整備目標 62mm/h (一般地区)	50%	100%	100%	市街地の浸水解消を目標として、高崎駅周辺等の資産集中地区の対策を重点的に整備を行う	雨水幹線、貯留施設の整備	今後、雨水管理総合計画を策定して整備を進める予定	
		984ha	1,977ha	1,977ha					
耐水化	水害時における機能確保率※1	処理場	揚水機能が確保された施設数(沈砂池ポンプ棟):全1施設	100%	100%	100%	浸水なし		浸水ナビを用いて中高頻度規模降雨(1/100確率)による浸水深を確認し、対策浸水深として設定した
				(1)	(1)	(1)			
			沈殿機能が確保された系列数(A系、B系、水処理施設):全3系列	100%	100%	100%			
			(3)	(3)	(3)				
		汚泥処理機能が確保された施設数(A系汚泥処理棟、B系汚泥処理棟):全2施設	100%	100%	100%				
			(2)	(2)	(2)				
(ポンプ場)	揚水機能が確保された施設数(ポンプ棟):全5施設	60%	80%	100%	改築更新計画と併せて耐水化事業を進める	下佐野ポンプ場耐水化工事			
(ポンプ場)	揚水機能が確保された施設数(ポンプ棟):全1施設	100%	100%	100%	浸水なし				
		(1)	(1)	(1)					
耐震化	災害時に保率	主要な管渠	2%	5%	16%	重要な幹線等(約146km)の耐震化を進めるとともに、処理場及びポンプ場は、改築更新計画と併せて耐震化事業を進める	ボックスカルバート耐震化工事 小口径推進管耐震化工事 下和田ポンプ場の建替え工事		
		下水処理場	13%	20%	33%				
		ポンプ場	33%	50%	83%				
高度処理	高度処理実施率		-	-	-	利根川流域別下水道整備総合計画に基づき現処理法を採用	現有施設の適切な運転を行う		
計画放流水質		BOD:15mg/L	BOD:15mg/L	BOD:15mg/L					
合流式下水道の改善	合流式下水道改善率		100%	100%	100%	雨水滞水池、雨水吐スクリーンを整備済			
汚泥の再生利用	燃料または肥料として有効利用された割合		100%	100%	100%	肥料、セメント原料として有効利用			

※1 括弧内の数値は施設数を表す。

9.2 施設の機能の維持に関する方針（様式2）

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の頻度
管渠施設	施設の重要度等に応じて、概ね5年～50年に1回点検を実施。 点検の結果、異状の可能性がある個所についてテレビカメラ等による調査を実施。
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	5年に1回程度の頻度で分解調査を実施。
水処理施設 (送風機本体)	5年に1回程度の頻度で分解調査を実施。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	5年に1回の頻度で分解調査を実施。

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	緊急度Ⅰ・Ⅱのものを修繕・改築対象とする。
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	健全度2以下のものを修繕・改築対象とする。
水処理施設 (送風機本体)	健全度2以下のものを修繕・改築対象とする。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	健全度2以下のものを修繕・改築対象とする。

iii) 改築事業の概要(令和7年度～令和12年度)

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	城南処理区(延長:約453m)
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	改築予定なし。
水処理施設 (送風機本体)	改築予定なし。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	阿久津水処理センター No.1,2遠心脱水機

b) 長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し (年当たりの概ねの事業規模の試算)	試算の対象期間	試算の前提条件
約 967 百万円 / 年 約 1,573 百万円 / 年	概ね50年後	管路施設 処理場施設

※改築の需要見通しは、全処理区の合計金額とする。

10 毎会計年度の工事費の予定額及びその予定財源（様式3）

イ 経 費 の 部										
赤は変更前 黒は変更後 単位:千円										
年次		建 設 改 良 費					起債元利 償還費	維 持 管理費	その他	合 計
		管 渠	ポンプ場	処理場	計	うち用地費				
令和6年度まで		34,810,899	7,127,535	23,583,938	65,522,372	5,600,273	39,646,932	30,654,745	-	135,824,049
		34,310,769	7,127,535	23,583,938	65,022,242	5,600,273	39,646,931	30,721,226	-	135,390,399
令和7年 ～ 令和12年	令和7年	324,000	6,000	305,000	635,000	-	811,120	1,189,000	-	2,635,120
		324,000	6,000	305,000	635,000	-	811,120	1,189,000	-	2,635,120
	令和8年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		320,000	5,000	300,000	625,000	-	762,302	1,189,000	-	2,576,302
	令和9年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		300,000	1,531,000	300,000	2,131,000	-	730,290	1,269,486	-	4,130,776
	令和10年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		300,000	905,000	200,000	1,405,000	-	716,777	1,269,486	-	3,391,263
令和11年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	300,000	25,000	200,000	525,000	-	677,621	1,304,775	-	2,507,396	
令和12年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	300,000	5,000	200,000	505,000	-	628,407	1,304,775	-	2,438,182	
	小計	324,000	6,000	305,000	635,000	-	811,120	1,189,000	-	2,635,120
		1,844,000	2,477,000	1,505,000	4,796,000	-	4,326,517	7,526,522	-	12,733,461
合計		35,134,899	7,133,535	23,888,938	66,157,372	5,600,273	40,458,052	31,843,745	-	138,459,169
		36,154,769	9,604,535	25,088,938	69,818,242	5,600,273	43,973,448	38,247,748	-	148,123,860

ロ 財 源 の 部												赤は変更前	
												黒は変更後	単位:千円
年次		建 設 改 良 費						維持管理費及び起債元利償還費				合 計	
		国費	起債	他会計繰入金	受益者負担金	その他	計	下水道使用料	他会計繰入金	その他	計		
令和6年度まで		21,475,297	36,778,592	3,364,159	913,568	2,990,756	65,522,372	25,231,641	39,939,625	5,130,411	70,301,677	135,824,049	
		21,475,297	36,778,592	3,364,159	913,568	2,490,626	65,022,242	25,231,641	39,939,625	5,196,891	70,368,157	135,390,399	
令和7年 ～ 令和12年	令和7年	193,000	312,500	-	29,625	99,875	635,000	919,417	500,053	580,650	2,000,120	2,635,120	
		216,125	387,500	-	25,228	6,147	635,000	919,417	500,053	580,650	2,000,120	2,635,120	
	令和8年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		173,000	400,000	-	19,587	32,413	625,000	903,892	492,045	555,365	1,951,302	2,576,302	
	令和9年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		721,750	512,500	-	24,484	872,266	2,131,000	928,413	577,232	494,131	1,999,776	4,130,776	
	令和10年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		245,750	412,500	-	24,484	722,266	1,405,000	923,014	568,619	494,630	1,986,263	3,391,263	
令和11年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	150,650	333,500	-	22,525	18,325	525,000	934,583	555,237	492,576	1,982,396	2,507,396		
令和12年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	147,890	310,500	-	22,525	24,085	505,000	934,653	540,864	457,665	1,933,182	2,438,182		
小計	193,000	312,500	-	29,625	99,875	635,000	919,417	500,053	580,650	2,000,120	2,635,120		
	1,655,165	2,356,500	-	138,833	1,675,502	4,796,000	5,543,972	3,234,050	3,075,017	7,937,461	12,733,461		
合計		21,668,297	37,091,092	3,364,159	943,193	3,090,631	66,157,372	26,151,058	40,439,678	5,711,061	72,301,797	138,459,169	
		23,130,462	39,135,092	3,364,159	1,052,401	4,166,128	69,818,242	30,775,613	43,173,675	8,271,908	82,221,196	148,123,860	
下水道使用料 ※関連事項		接続率: 97.0%(令和6年度:初年度) → 98.0%(令和12年度:最終年度)											
		講じる対策 未接続世帯への戸別訪問及び休日訪問による水洗化の促進、パンフレットによる啓発活動等を行う。											
		有収率: 87.0%(令和5年度:初年度) → 90.0%(令和12年度:最終年度)											
		講じる対策 有収率の向上を目指し、老朽化対策を推進する。											
		その他の講じる対策 「高崎市下水道事業経営戦略」に基づき、使用料体系の統一や使用料の引き上げを検討する。											